

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0101	実施計画
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	行政情報の提供	担当	企画部 情報課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 広報配達員 シルバー人材センター	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	市政と市民をつなぐ情報誌として「広報おわりあさひ」を毎月1日、15日に発行し、全世帯に配布している(ホームページにも掲載)。 仕様 A4版、2ツ折り 1日号:2色刷り 記事量によってページ数変動(16~32ページ) 市からのお知らせや情報量の多い記事を中心に掲載 15日号:オールカラー 原則16ページ 写真やイラストを多用し、見やすく楽しい誌面構成 作成方法 記事の編集作業、写真等の提供、校正作業を市で行い、レイアウト、デザイン、印刷製本、仕分け作業、納品は印刷業者で行う。 配布方法 広報配達員、シルバー人材センターによる全戸配布 スマートフォンでも広報が見られるよう、広報配信アプリによる配信 画像にスマートフォンをかざすと動画が見られるARの導入
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
	・紙媒体の特性を活かし、行政情報がより分かりやすく市民に提供され、市政に対する理解が深まっている。 ・広報誌等が市内各世帯に遅滞なく配布されている。			

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	「広報誌」発行・配布部数(3月15日号実数)	部	34,040	34,405	34,615	34,830	
	広報配布に関する苦情・要望(配布漏れ等)	回	136	123	100	68	
成果指標	「広報誌」で市政情報を知る人の割合	%	89.3		94	89.6	
	「広報誌」を読んで市政を理解した市民の人数の割合	%	89.5		90	89.8	
事業費 計			42,135	42,572	42,597	41,847	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	42,135	42,572	42,597	41,847

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 広報誌で市政情報を知る人、広報誌を読んで市政を理解した市民の割合はどちらも約90ポイントと高くなっているが、広報誌で市政情報を知る人の割合は目標値に約4ポイント足らなかった。 (原因) SNSの普及などにより市政情報の入手手段が多様化していることが原因であると考えられる。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市 P R 行政情報提供事業

[761]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0102	実施計画	対象
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	行政情報の提供	担当	企画部 情報課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 市民
 市外の人

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 ・あらゆる媒体を有効活用することで、尾張旭市の現状や魅力が分かりやすく提供され、多くの人に市政が理解されている。
 ・市イメージキャラクターあさびーにより、効果的に市が P R され、好印象が抱かれている。

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 行政情報番組「あさチャン」の放送
 地元ケーブルテレビ(GCTV)で市政情報を発信。1日6回の10分番組で、内容を月に2回更新している。市ホームページ、動画配信サイトYouTubeでも同番組を配信。
 GCTV(株) 市内34,586戸のうち12,206戸が接続(接続率35.3%、H29.8月末現在)
 尾張旭市の現状や魅力などを紹介する冊子を作成し、配布
 ・ポケット情報おわりあさび(市勢や財政、統計データのダイジェスト)
 ・尾張旭市ガイド(市の概要や公共施設を紹介するガイド)
 ・住むぞうガイド(株)ゼンリンに協力して平成27年度に発行。市の概要、行政サービス、主要施設・医療機関などを網羅した地図を掲載)
 市イメージキャラクターあさびーによる P R 活動
 ・フェイスブック、ツイッター、LINEでの情報発信
 ・オリジナルグッズを配布、販売
 ・着ぐるみ・オリジナルのぼり旗の有効活用
 YouTubeによる P R 動画の配信
 職員出前講座の実施
 新聞広告を活用した市の P R

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	ポケット情報おわりあさびの作成・配布部数	部	3,000	3,000	3,000	2,000	
	あさびー着ぐるみの貸し出し回数	回	50	60	60	47	
成果指標	各種イベントなどへのあさびー着ぐるみ登場回数	回	53	63	65	52	
	あさびーフェイスブック「いいね!」件数	件	843	928	950	944	
事業費 計			6,327	6,435	7,670	8,454	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		600	1,034	1,200	959
		オ 一般		5,727	5,401	6,470	7,495

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) あさびー着ぐるみの登場回数が、昨年度実績と比べ11ポイント低下している。 (原因) 担当課や市民へ着ぐるみを貸し出し、イベントで活用してもらうため、イベント内容や天候、人員不足等に左右されるほか、着ぐるみの借用について周知されていないことが原因であると考えられる。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市WEBページ(CMS管理)外で公開する各課等で独自に作成されるホームページについて、担当課と情報共有を図り、円滑な作成・運用に努めます。		
実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	担当課と情報共有を図り、円滑な作成・運用に努めました。		

ホームページ運用事業

[777]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0104	実施計画	
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	行政情報の提供	担当	企画部 情報課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	インターネットを利用できる市民	尾張旭市公式ホームページ運営要綱に基づき職員自ら作成管理することを原則として、アクセシビリティに配慮がされ、魅力あるホームページ作りができるように支援やマネジメントを行う。 <情報課が行う業務> ・iサポーターの選任 ・各課等が作成したホームページの更新 ・CMS、アクセシビリティ等に関する研修 ・CMS(コンテンツマネジメントシステム): ホームページを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、サイトを構築したり編集したりするソフトウェア ・大規模災害時における専用サイトの立ち上げ
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・市のホームページを通じて、即時性のある情報が提供できている。
・市民が市のホームページから必要な行政情報を取得できている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	ホームページ更新ページ数	件	8,354	5,338	4,000	5,263
	ホームページ関係研修参加者数(のべ)	人	38	33	40	37
成果指標	一定情報の提供されている課の割合	%	100	100	100	100
	市民の尾張旭市HP年間アクセス件数	件	438,718	393,875	400,000	352,075
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>状況 市民の尾張旭市HP年間アクセス件数が昨年度と比べて41,800ポイント下がっている。</p> <p>原因 市民にとって知りたい情報が広報誌に掲載されており、ホームページを見なくても行政情報を入手できることが原因であると考えられる。また、何度も訪れたいようなホームページになっていないことも原因の一つと考えられる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

情報課庶務事務

[922]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0105	実施計画	
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	行政情報の提供	担当	企画部 情報課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	情報課職員	市議会や重要事項に係る報道機関との連絡調整 行事、イベントの取材、記録 尾張東部広報広聴連絡協議会事務 新聞記事等の保存整理 地上波デジタル放送、GCTV、FMSANQ等への情報提供 パブリックコメント制度運用 広報、ホームページへの広告掲載 課の庶務(文書・メールの收受、各種届出簿、庁内外報告文書、会計事務等)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
課の庶務的な事務が適正に遂行されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	課の時間外勤務時間数	時間	1,005	714	940	889	
成果指標	時間外勤務の削減率	%	2.6	29.0	2.5	-24.5	
	庶務事務における事務改善件数	件	1	1		0	
事業費 計			1,400	1,236	1,467	1,258	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	1,400	1,236	1,467	1,258

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>状況 時間外勤務の削減率昨年度実績と比べ53.5ポイント低下し、庶務事務における事務改善件数も昨年度実績と比べ1ポイント低下している。</p> <p>原因 尾張旭まち案内に関する事業など新しい事業があったことが時間外勤務削減率の低下の原因と考えられる。また、事務改善への意識の低さが事務改善件数の低下につながったと考えられる。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

対話の行政推進事業

[765]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0201	実施計画	対象
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	広聴機会の充実	担当	企画部 秘書課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 市内事業所	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> 多世代の声を聴取し、バランスよく市政運営に反映させるため、市民の市政への参画を図る。 「受動形」と「能動形」の「対話の行政」をバランスよく展開することで、より効率的な広聴業務を推進する。 受動形：eメール、意見箱 能動形：市長の現場訪問、市長を囲む子ども会議
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 「対話」により、市民からの意見、提案等を受けるとともに、この機会を利用して、市は説明責任 回答を含む を果たし、より多くの市民の生の声を聞くことにより市政への参画の機会が増えている。 市政に対する理解が深まっている。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	受動形「対話の行政」の種類数	件	3	2	2	2
	能動形「対話の行政」の種類数	件	2	2	2	2
成果指標	eメール等による対話数(意見に対する回答数)	件	104	118	100	117
	市長の現場訪問・市長を囲む子ども会議の開催回数	回	7	16	10	16
事業費 計			32	34	37	33
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		32	34	37

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	(状況)「eメール等による対話数」、「市長の現場訪問・市長を囲む子ども会議回数」ともに、H29年度実績値と同水準となっており、いずれも計画値より高い結果となっている。 (原因等)eメール等により寄せられた意見数(H29:253件)は、H28年度と比較して64件減少したが、H29年度中に市全域における投書箱の配置バランスに考慮しつつ、投書が少なかった本地原公民館から多世代交流館へ意見箱を移設して意見数の低下を防ぐことができた。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0301	実施計画	
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	情報公開と個人情報保護	担当	総務部 行政経営課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 市が保有する情報 市が保有する情報を知りたい人及び団体 自分の個人情報が市の保有する情報に記録されている人 	<p><情報公開></p> <ul style="list-style-type: none"> 情報公開条例に基づく公開請求に応じて、対象となる公文書を特定し、公開する。 個人情報等の非公開情報を除き、公開を原則とする。 非公開又は部分公開の決定に関する審査請求を受け付け、再検討し、請求に応じないこととした場合は情報公開・個人情報保護審査会に諮問する。 <p><個人情報保護></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護条例に基づき、個人情報の開示請求に応じて、対象となる個人情報を開示する。 開示をした個人情報について、訂正又は利用停止請求があった場合に必要な調査を行い、調査結果に基づき訂正又は利用停止を行う。 不開示、不訂正又は不利用停止決定に関する審査請求を受け付け、再検討し、請求に応じないこととした場合は情報公開・個人情報保護審査会に諮問する。 個人情報の開示請求者が自己に関する情報を市の実施機関にどう利用されているかを的確に認識するため、個人情報ファイル簿を管理する。 マイナンバー法に対応するため、特定個人情報保護評価の見直しを実施する。 特定個人情報の管理に関する規程に基づき、必要な安全管理措置を講ずる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 市政に関する情報を必要に応じて入手できるようになっている。 個人情報の開示、訂正、利用停止を請求する権利が保障され、市が保有する個人情報適正に管理・運用されることにより、個人の権利利益が保護されている。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	情報公開請求対応件数	件	61	51	50	67	
	個人情報開示請求対応件数	件	8	10	10	5	
成果指標	情報公開請求に対し、全部公開又は部分公開した件数	件	57	49	45	65	
	個人情報開示請求に対し、全部公開又は部分開示した件数	件	3	8	5	5	
事業費 計			278	1,373	1,444	1,317	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他			28	2	33
		オ 一般		278	1,345	1,442	1,284

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)「情報公開請求に対し、全部公開又は部分公開した件数」は、昨年度実績と比べ、32.7%増加しています。 (理由)工事の金入り設計書の情報公開請求件数が増加したためと考えられます。</p>
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0302	実施計画	
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	情報公開と個人情報保護	担当	総務部 行政経営課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等(附属機関、懇談会等) ・行政委員会(選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会、教育委員会) ・市負担金交付団体 ・市民 	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等の所管課から次の場合に「附属機関等の基本的取扱いに関する要綱」に定める協議を受け、適正であるかを判断する。 附属機関を新たに設置するとき。 懇談会等を新たに開催するとき。 附属機関等について整理又は統合するとき。 ・市民や学識経験者などが委員になっている会議は原則公開とし、下記の事務を行う。 個人のプライバシーを取り扱う会議などは非公開(「附属機関の会議の公開に関する基準」により判断) <事前周知> 附属機関等の会議の日程を会議開催10日前までにホームページに掲載する。 <会議の傍聴> 会議の所管課が実施 <会議結果の公表> ・各課が作成した会議録を市ホームページに掲載する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	会議開催回数	回	238	218	250	228
成果指標	公開した会議の回数	回	113	96	120	106
	傍聴者数	人	127	73	100	103
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)「公開した会議の回数」は、10.4%向上しています。「傍聴者数」は、41.1%向上しています。 (理由)情報が適正に公開され、透明性の高い市政運営の定着化が進んでいると考えられます。</p>
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

入札方式改革事務

[768]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0304	実施計画
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	情報公開と個人情報保護	担当	総務部 総務課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市が発注する工事、物品購入及び役務の提供等の入札(全庁)	<ul style="list-style-type: none"> 競争性・透明性の高い新たな入札方式(公募型など)の調査・研究を行う。 入札方式改善検討委員会を開催し、新たな入札方式の導入検討を行う。 <p>平成19年4月 制限付き一般競争入札の対象を拡大(設計金額:建築一式6千万円、その他工種4千万円以上)</p> <p>平成20年4月 指名業者名事後公表の試行 工事希望型指名競争入札の試行実施要領の改正。発注基準の改正。</p> <p>平成21年4月 工事の品質確保を図るため、全工事において適正な工事実績を求める。 工事希望型指名競争入札の試行実施要領の改正 指名数の不足による中止規定の改正</p> <p>平成22年4月 最低制限価格設定金額の拡大及び設定価格事後公表への変更 建設工事等の一般競争入札参加資格要件及び運用基準の設定 制限付き一般競争入札対象案件、電子入札試行対象案件の拡大(工事で予定価格130万円超え、物品の購入で予定価格200万円超え、役務の提供等で予定価格100万円超え)</p> <p>平成23年4月 制限付き一般競争入札対象案件の拡大(物品購入で予定価格80万円超え)</p> <p>平成24年4月 制限付き一般競争入札対象案件の拡大(役務の提供等で予定価格50万円超)</p> <p>平成26年9月、平成27年3月 最低制限価格設定業務の拡大</p> <p>平成30年4月 公契約条例施行予定</p> <p>平成28年組織変更に伴い、ライセンス使用料を89-0912入札参加者選定事務から81-0304入札方式改革事務へ移行。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	透明性・公平性が確保され、競争性の高い入札が執行されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	制限付き一般競争入札による件数	件	227	221	220	213
	入札方式改善検討委員会開催数	回	0	1	2	1
成果指標	工事、物品購入及び役務の提供等の入札全体における制限付き一般競争入札割合	%	84.7	83.4	88	86.6
	工事、物品購入及び役務の提供等の平均落札率(落札金額/予定価格)	%	85	84	-	85
事業費 計				22	22	22
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円		22	22

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	原則、制限付き一般競争入札を実施してきたことにより、成果が向上した。
--------	--	------------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	公契約条例の制定を進めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	公契約条例を制定し、平成30年4月1日からの施行に向けて周知等を行った。		

定住促進事業

[1244]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0401	実施計画	対象
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	市の魅力の発信	担当	企画部 企画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 市外の人	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	第五次総合計画の計画人口の実現に向け、主にシティーセールスの手法により定住者の増加を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	尾張旭市が、住んでみたいまち、住み続けたいまちと思われ、定住するまちとして選ばれている。	【事業内容】 ・平成27年度 PRポスターを作成し、市役所、尾張旭駅及び印場駅へ掲示 ・平成28年度 2種類のPRポスターを作成し、市役所、尾張旭駅及び印場駅等へ掲示、ホームページを作成、フォトブックを作成 ・平成29年度 2種類のPRポスターを作成し、市役所、尾張旭駅及び印場駅等へ掲示予定	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	市の魅力を発信する情報手段数	項目	5	9	10	9
成果指標	人口	人	82,361	82,757	82,800	83,372
	尾張旭市に住み続けたいと思う市民の割合	%	80		85	77.8
事業費 計			1,033	6,980	1,800	1,858
財源内訳		ア 国		6,980		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,033		1,800

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	人口 (状況)人口実績は昨年度実績と比べ0.7%向上しており、第五次総合計画における計画人口を上回っている。(原因)不明 尾張旭市に住み続けたいと思う市民の割合 (状況)「住み続けたい・できれば住み続けたい」と思う市民の割合はH29計画値と比較して7.2%低い結果となっている。(原因)計画値を高く設定している点と、60代以上の世代の定住志向が弱まっていると考えられる。
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	第五次総合計画に掲げる計画人口の実現に向け、定住者の増加を図るため、総合戦略と連携した計画立案を行います。 転入者の増加と市民の定住志向を高めるため、市の魅力の発信を計画的かつ継続的に行い、新たな情報伝達手段を講じます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
総合戦略と連携した計画立案を行うことができなかった。 子育て世代をターゲットとした市の魅力の発信(魅力発信Webマガジンの更新・定住促進PRポスターの掲出)を継続的に実施した。			

地域ブランド推進事業【～H29】

[1277]

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0402	実施計画	
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	市の魅力の発信	担当	企画部 企画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市外の人	<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド検討会議を開催し、地域ブランド推進事業に関する検討を行い、検討した事業を実施する。 【実施内容】 平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> 地域情報発信リーフレットの作成及び配布 押し寿司の普及について、市民祭等のイベントでPRを実施。 押し寿司と棒の手に関する紙芝居を作成。 押し寿司と棒の手に関するPRビデオを作成。 平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド推進検討会議の開催。 地域周遊型イベントの実施。 押し寿司レシピ集の作成。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	市民が尾張旭市に誇りと愛着をもち、市外の人に尾張旭市へ行ってみたい、住んでみたいと思ってもらえるようになる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	情報発信依頼件数	件		4	4	29
	地域ブランド推進のための取組項目数	項目		2	2	4
成果指標	尾張旭市に「愛着」を感じている市民の割合	%			67	64.9
	市の魅力が積極的に発信されていると思っている市民の割合	%			73	69.3
事業費 計				5,350	1,223	1,092
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円	5,350		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他			700	700
		オ 一般			523	392

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 尾張旭市に「愛着」を感じている市民の割合及び市の魅力が積極的に発信されていると思っている市民の割合はH29計画値と比べ低い結果となっている。 (原因) 本市の魅力の発信についての取組は、継続が必要であるため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	新規
	本市における地域ブランドを確立し、市内外へPRすることによって、定住者の増加を図ります。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
地域ブランド検討部会を開催し、押し寿司の普及策等について検討した。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	08	分野横断的なまちづくりと市政運営	事務事業コード	81-0901	実施計画
施策	01	開かれた市政の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	企画部 秘書課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 在勤者 各種団体	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<p>【市政功労者表彰式】 市政功労者表彰式(仕事始めの日又は市制施行記念日)を開催し、本市の発展に貢献したものをはじめ、すべての市民の模範となる個人・団体の功労、功績に対し表彰、感謝状・記念品の贈呈を行う。 感謝状の一部は、随時(寄附などに対して)行う。</p> <p><事務> 候補者の選定について各課へ照会 各課回答 表彰審査委員会(副市長・部長級)で審査 市長へ報告 市長が受賞者(個人・団体)を決定</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の模範となるかたの功績をたたえるため顕彰することで、市民の市政への参加・協力をよりいっそう促進する。 叙勲等を受章していただき、その榮譽をたたえることで、今後も市政発展に寄与していただく。 	<p>【叙位・叙勲及び褒章事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 春秋叙勲 永年本市地方自治の育成発展に貢献し、特に功績顕著な者を候補者として推薦書類を作成し、県に提出する。本市からの推薦で受章された場合は祝電等を贈る。 特旨叙位、特別叙勲 永年本市地方自治の育成発展に貢献し、特に功績顕著な者が死亡した場合に必要な書類を作成し、県に提出する。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	表彰式開催数	回	1	1	1	1	
成果指標	表彰者・感謝状贈呈者数(個人)	人	129	101	150	86	
	表彰者・感謝状贈呈者数(団体)	団体	7	3	2	4	
事業費 計			1,056	932	1,436	759	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	1,056	932	1,436	759

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況)表彰者・感謝状贈呈者数(個人)についてはH28年度の実績値及びH29年度の計画値よりも減少しているが、表彰者・感謝状贈呈者数(団体)についてはH29年度の計画値よりも増加している。</p> <p>(原因)市制45周年に併せた表彰規則の改正により、H27・28年度の贈呈者数が一時的に増加したため、H29年度の実績値(個人)は、それを下回ったと考えられる。また、H29年度の実績値が計画値を下回った原因としては、民生委員の任期満了年であったことから、例年より多くの贈呈者数を見込んでいたが、予想よりも対象者が少なかったためである。</p>
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市への各種貢献に対して、広く感謝できるよう新たな表彰の基準を設けるための情報収集に努めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	市民荣誉賞表彰規則を制定し、これまでの表彰制度を見直すことで、表彰対象の拡大を図った(H29.11.17)名誉市民条例制定に向けて表彰審査委員からの意見を聴取し、情報収集に努めた。		